

第133回研究発表会(関西支部) プログラム

日時：2023年9月8日(金) 9:30～16:15
会場：関西大学千里山キャンパス第2学舎2号館(C棟)

9:30～10:00	受付	
	会場:C301 座長:斎藤淳(村田製作所)	会場:C303 座長:青木敏(神戸大学)
10:00～10:30	【事例発表1】統計的手法を用いた現場改善活動による人材育成 ○伊藤顕(ユニチカ株)	【事例発表5】JISZ9002-1956に変わる新たな抜取検査個数と合格判定個数算出方法の提案 ○岩本和奏(パナソニックインダストリー株式会社)、○清水貴宏(パナソニックエナジー株式会社)、稲葉太一(神戸大学)
10:30～11:00	【事例発表2】機械学習に基づく射出成形のプロセスパラメータの最適化 東さくら、○泉井一浩、西脇眞二(京都大)、高橋隆晃、多田憲生(岐阜多田精機)	【研究発表1】製品開発プロセスにおける質創造に関する概念モデル構築 ○赤松勝(兵庫県立大学)
11:00～11:30	【事例発表3】自動化ライン設備における統計的設備管理の必要性の研究～統計学を活用し暗黙知を形式知へ～ ○木村 晋、小林 栄次、武内 和彦、安田 真樹、石黒 裕之(敷島製パン株式会社)	【研究発表2】データサイエンス教育におけるコイン射撃を用いた回帰分析の能動型学習 ○小川昭(目白大学)、高橋武則(統計数理研究所)、伊藤利佳(目白大学)
11:30～12:00	【事例発表4】品質ヒヤリハット報告制度を活用した品質不具合防止活動 ○池田素子、北條理恵子、高橋憲吾、木村哲也(長岡技術科学大学)	【研究発表3】ダイナミックロバストマネジメント(Dynamic robust management (DRM)の研究(第6報))—TQM、ISO、先手管理(SENTE KANRI-SE7)のトライアングル融合— ○金子浩一(金子技術士事務所)、中島健一(早稲田大学)、榊秀之(関西福祉科学大学)
13:00～14:00	会場:C303 【特別講演】「組織におけるAIの活用—生成AIというゲームチェンジャー」 荒木孝治教授(関西大学商学部)	
	会場:C301 座長:泉井一浩(京都大学)	会場:C303 座長:植田敦子(ユニチカ株)
14:10～14:40	【研究発表4】AI時代におけるコトづくりと品質保証 ○猪原正守(大阪電気通信大学)	【研究発表7】超設計における柔軟設計と連合設計と形態設計 ○高橋武則(統計数理研究所)
14:40～15:10	【研究発表5】測定誤差による良・不良判定への影響を学ぶための実験教材の設計開発 ○竹本康彦(近畿大学)	【研究発表8】アンケート調査と仮想実験 ○高橋武則(統計数理研究所)
15:10～15:40	【研究発表6】リッジタイプ分散共分散行列を用いた主変数選択問題における多重共線性対策 ○吉田悠夏、黒木 学(横浜国立大学)	【研究発表9】仮想実験による大学生の就業環境意識分析 ○川崎昌(桜美林大学)、高橋武則(統計数理研究所)、小川昭(目白大学)
15:40～16:15	会場:C303 表彰式・閉会挨拶	